

●自動車運転教習

ブリテイッシュ・コロンビア州では、ドライバータちに交通規則など法律知識を学ばせるのに、テリドンを採用している。

このシステムは、州の大手テリドン会社ドミニオン・ディレクトリーが中心になって開発したもので、ドライバータは州政府運輸省の各地出先機関に置かれたテリドン端末で質問を受けたり答えたりする。

各人に応じて設問の数や難易度が変わるから、従来のペーパー学習より学習効率がよくなるという。このテストは、練習用にも、また本番の免許試験にも使える。

●バスの運行表示

シヨッピング・センターやバス・ターミナルなどに設置した端末機に、自分の行先を入力すると、どのバスに乗ればいいのか、何時に来るかを、ただちに教えてくれるシステムが、オタワのジェネシス・グループによって開発された。

ジェネシス社が作ったシステムは、オンタリオ州交通局のバス運行表をコンピュータによって条件処理し、路線地図やバスナンバー、到着時間を画面に表示する

もの。最近の実験で大きな成功を収めた。

●病院の情報システム

病院経営に最新の医療情報を役立てようと、カナダ病院協会がテリドン・データベース・サービスを開始した。

ジェネシス社の開発した「ジェネシス・システム」というシステムを使って、オタワの中央データベースに経営情報、救急医療、医学教育の三分野の情報を留意し、各病院の端末機からアプローチする。

●ホーム・ユニバーシティ

ケベック大学では、昨年からテリドンをを使って「テレユニバーシティ」という教育サービスを開始している。ケベック市の大学本部にデータベースを置き、州内各地に散らばるキャンパスに合計数十台の端末機を設置し、学生が自分で課目を選択し、学習を進める一種の通信教育

だ。将来は企業内や家庭でも受けられるようにするという。端末機としては、テリドン・コンパチ型ならどんなパソコンでも使える。

●世界の天気予報

世界の気象衛星から送られてくる海洋・気象データをコンピュータで処理し、世界の天気予報、気象地図、各種図表を毎月一万ページ作成するテリドン・システムを開発したのは、メテオロジカル・エンバイランメント・プランニング社とアメリカン・ウエザーウォッチ社。農家、商品取引業者、テレビの天気解説、海運、オフショア開発関係の人々に役立つものと期待されている。

●CATVに接続

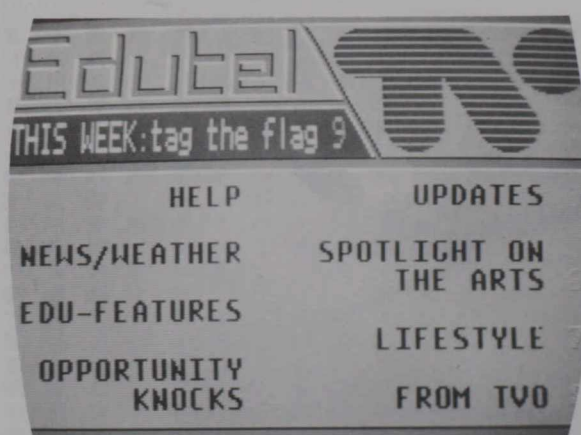
モントリオールビデオウェイ・グループ社は、ケーブル・サービスタラレビデオビデオテックスでもテレテキストでも同じ受像機で受信できるケーブル・コンバータを開発した。これはCATVやペイテレビ五十数チャンネルのコンバータにもなる。

●「アグリテックス」

マニトバ中心のグラスルーツは有名だが、サスカチュワン州にも州の電話公社サステルが運営する「アグリテックス」サービスタラレ誕生した。グラスルーツやア

グリスタール、アグネットなど五つの農業データベースを提供するほか、電子メールもできる。当面の加入者はまだ百五十名ほどだが、来年末には千名に増えると思われている。

サステルは、二年前から一般向けテリドン・サービスタラレ「バスファインダー」の実験を続けてきた会社。



●「ゲートウェイ」

米国のタイムズ・ミラー社とカナダのインフォマート社が、カリフォルニア南西部で実験していた一般向けのビデオテックス・サービスタラレ「ゲートウェイ」が、いよいよ本格的な商用運営に入る。ホームシヨッピング、バンキング、電子メール、ゲーム、ニュース、教育情報など、家庭向けの内容で、一か月の会費は三十ドル。